

犬山の2学期制

充実した学校教育の中で
「自ら学ぶ力」を育てるために

犬山の学校教育は、人格の完成をめざし、すべての子どもの学びを保障することを主眼としています。そのために、学校においては、子ども同士、子どもと教師の温かなふれあいの中で、学びが深まり、子どもたちに豊かな人間性と確かな学力を育むことができるよう努めています。犬山がめざす子ども像である「自ら学ぶ力を身につけた子ども」の実現に向けて、「犬山の子は犬山で育てる」という理念を共有し、特色ある学校づくりを進めています。

中でも「2学期制」は、子どもたちに「自ら学ぶ力」を育成する上で、重要な施策となっています。長いスパンで子どもたちの成長や変容を把握し、適切な支援を行うことで、子どもたちの意欲や課題意識を高め、主体的に学習したり、自ら判断して行動したりできる力を育てていくことがねらいです。



犬山市教育委員会

【2学期制における1年間の区切り】

【前 期】 4月1日～10月9日							【後 期】 10月13日～3月31日						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
前期始業式 					夏季休業 		前期終業式 		冬季休業 		卒業式・修了式 	学年末休業	

【2学期制の意義】

1 時間をかけて学習目標を達成することができます

- より長い期間での取組について状況や達成度を把握するため、目標への到達が不十分であった子への支援が充実し、学習目標を達成することができます。
- 2学期制では夏休みや冬休みも学期中となるので、十分に理解ができなかった内容や苦手な教科についても、個々の課題を明確にした上で、時間をとってじっくりと学習することができます。



2 一人一人の成長や進歩をつかみ、意欲の向上や次の取組に生かすことができます

- 長い期間での取組を把握することで、子どもたちの成長や進歩を正確にとらえることができます。その結果、一人一人の努力やがんばりを認め、励ましや称賛の言葉掛けができる、子どもたちの意欲の向上につながります。
- 長い期間の取組を把握するため、一人一人の課題や問題意識を次の学習へとつなぐことができ、子どもたちが自分の学習に対する見通しをもつことができます。それが、主体的に学ぶ力の土台になるとともに、学習に対する達成感や楽しさを感じることにつながります。

3 体験活動等の実施期間を拡大することができます

- 3学期制では、7月や12月は学期末の評価活動のために、学校行事や体験活動などが設定しにくい月でした。2学期制では、7月や12月にも計画的に組み入れることが可能となり、学校行事や体験活動など、充実した教育活動が展開できます。

4 進路選択（進学先選択）にじっくり向き合うことができます

- 2学期制では、私立高等学校の選択に関して、早い段階から客観視できる学力の資料を基に、ゆっくりじっくり子どもたちと相談活動ができます。そのため、高等学校の体験入学や見学会も納得がいくまで繰り返すことができます。
- ※ 中学校の進路選択に関しては、進路説明会などを通して丁寧に説明し、疑問にお答えいたします。
遠慮なくご相談ください。

令和8年度 前期終業式：10月9日（金） 後期始業式：10月13日（火）